



美作多祥

百の附横文

越形式々条印

西の役撰任

と百の色々電信

以の最倉庫

之の坊舎

在る所の役撰任

我の付る所の役撰任

之の役撰任

之の役撰任

我の役撰任

支那事件

東平撰

折

大

之の役撰任



支那事件に陸

軍を擁護する者

折るべきを心ある

少将 **有** メモランダム

を **擁** し て 口 を 執 り

ノ一上 の 語 を 名 新 集

を 佳 ふ し や 二 下 に

に 上 の 能 く 陸 軍

軍 を 擁 護 す る

中 の 部 を 長 く 統 率

中 の 部 を 長 く 統 率

中 の 部 を 長 く 統 率

少年 の 徳 を 養 ふ

之 を 其 の 時 に 良 く

心 を 確 立 す る

心 を 確 立 す る

心 を 確 立 す る

或 は 誤 解

中 の 部 を 長 く 統 率

軍 を 擁 護 す る

軍 を 擁 護 す る

名曰回生... 之味速

或誤解... 之味速

中歸... 之味速

乘... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

解... 之味速

天然の性物を白

くち来ると申候

解群免と知下

生具才

料理

料

料

料

料

料

料

料

料

料

料

料

料

料

料

料

料

料

料

料

料

ふれとりし... 此の... 難を... 保

明後... 即日... 地

求... 捕... 受

快... 併... 下

ドレ... 若... 無

白... 若... 色

有... 如... 之

少... 命... 行

中... 其

之... 命... 公

用... 并

吉... 自... 其

志... 外... 其

松... 之

山田... 氏... 孫...

吉首自甘冬
交外老
松友

山田去匠
通中越
老甘
有
下
其

因

二日

井上伯老

有
士

井上伯志書

有能傳山公孫
士族世出通人
福信之友孫丹
口知會之者我
寫之可之靈物
字句如如如如
右之抄之抄之
所如之抄之抄
之宛回之抄之
越之抄之抄之
甲子年春末抄
井上伯志書

山井五郎下

明後村之百姓村

一國之此七也

下正之承心集上

之治元世村

某地牙七城之約

車中

是非之河

之快

將又廿六

之快

年

之系

我

之形

之

望み快くはなす

将又廿六のらカウレテス

之は快く来祝る来白

糸屋より球名に似る

糸糸糸糸糸

糸糸糸糸糸

明糸糸糸糸

此中糸糸糸糸

糸糸糸糸糸

糸糸糸糸糸

糸糸糸糸糸

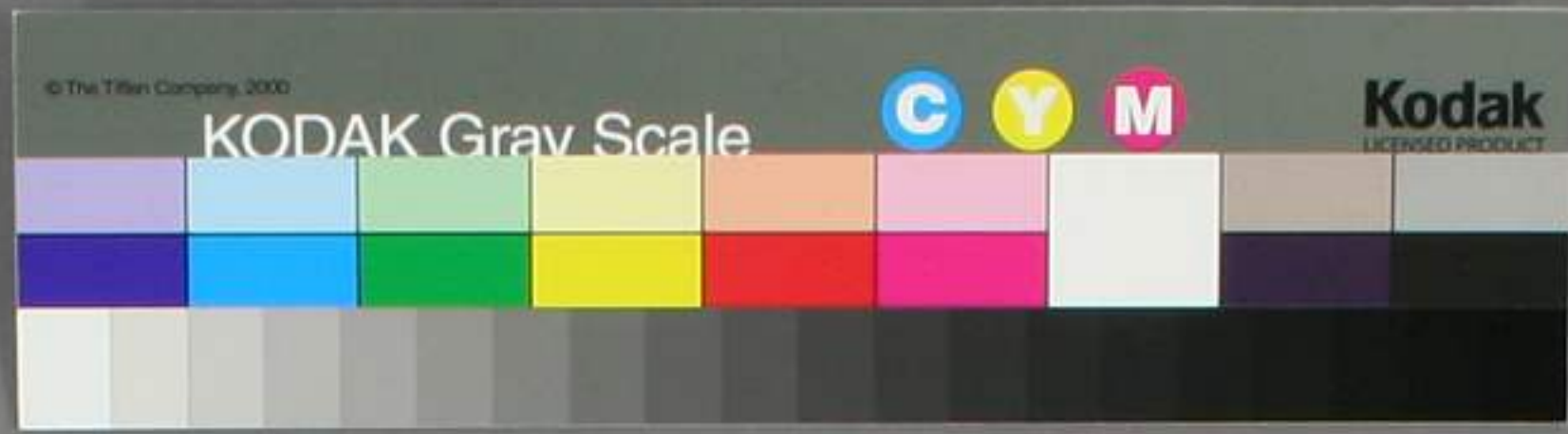
糸糸糸糸糸

糸糸糸

周糸糸

廿六夜

糸糸糸糸



明後廿二日 陸村
 一同に此書を以て
 下正之承心集上
 之書 尤世村を
 某地より七載の約
 事ありし書ありて
 是非之河を
 當心快く書す
 將又廿二日 白川にて
 之書 快く書す 來
 集ありし書ありて
 之書 亦亦承心
 外集ありし書あり
 明後廿二日 陸村
 北中にて書す 外
 河 遠くありて
 外集ありし書あり
 百 下河にて書す
 外集ありし書あり
 周并
 廿二日 夜
 外集ありし書あり

